



# 菅生学園報

第19号 2025年9月号



## 理事長メッセージ



理事長  
島田 幸成

### ＝VUCAの時代に生き抜く力とは？＝

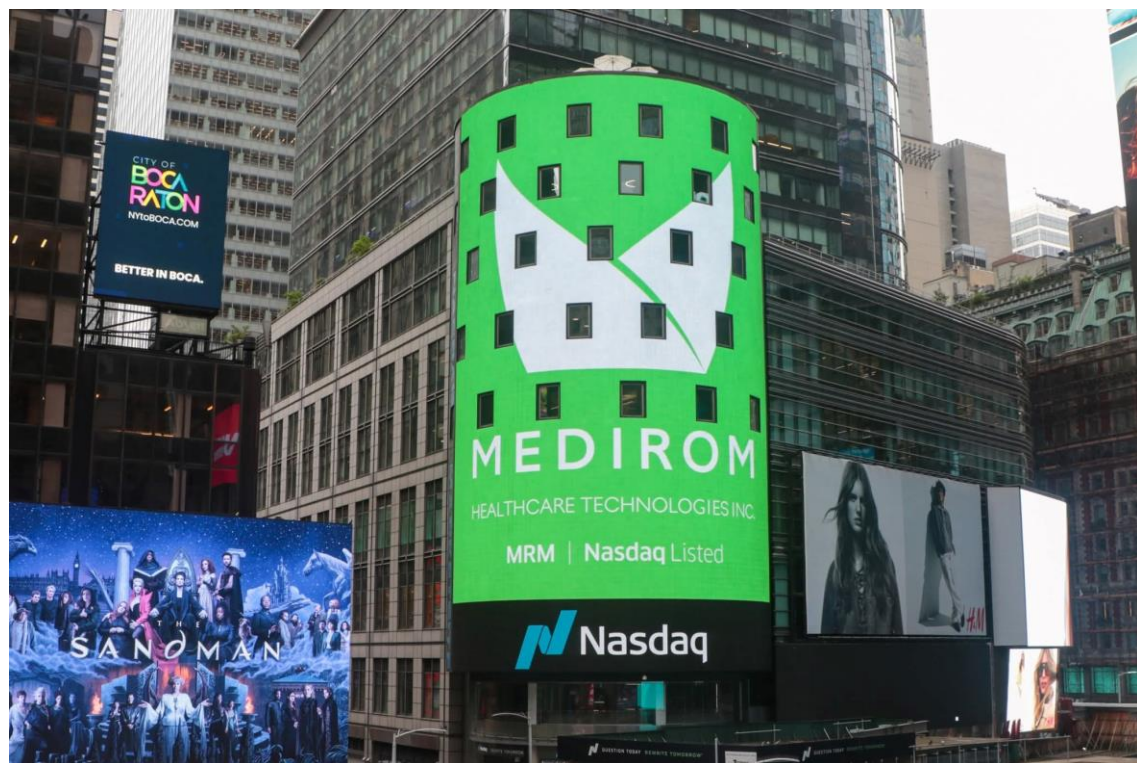
先日、お会場にある株式会社MEDIROMを訪問し、この会社の社長で東海大学菅生高校7期生の江口康二さんと、今度、江口さんを講師に迎え開催する開校記念講演会について打ち合わせさせていただきました。

この会社ですが、リラクゼーションを中心としたReRaKuを国内に300店舗運営するほか、ヘルスケアサービスを世界規模で展開しています。5年前にはNASDAQに上場するなど常に新たな挑戦を試みるベンチャー企業です。NASDAQ(ナスダック)とは、アメリカに拠点を置く世界初の電子株式市場で、ITやハイテク関連のベンチャー企業が数多く上場していて、アップルやマイクロソフトといった有名企業も名を連ねます。当時、NASDAQに上場した日本の企業はMEDIROMのみだったとのことでした。

江口さんは小学生のときから「Newton」など、科学雑誌を読みふけるほど、宇宙に興味があったそうです。そして、東海大学航空宇宙学科に進みたく、菅生高校に入学し、結果的には海洋学部に進学したそうですが、現在でも宇宙開発に携わる夢をもち続けているとのこと、これが江口さんの原動力です。凄いですね。菅生高校時代に体験されたこと、大学時代、初めて就職した会社での活躍、そして、MEDIROMを立ち上げた経緯、コロナ禍における会社の窮地、資金集めのためにNASDAQに上場したこと、今後の新たな事業展望などを伺い、江口さんの思いに感銘をうけました。そして、卒業生の活躍に大変嬉しく思いました。

現在の時代を表す言葉として、VUCAという言葉があります。VUCA（ブーカ）とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）、それぞれの頭文字をとった造語で、社会やビジネス環境が大きく変動し、将来の予測が困難な状態を指します。このVUCA時代を生き抜くためにはどうすればいいのか？賢さはもちろんですが、苦境にたったときの胆力、未知なものに恐れずにチャレンジしていく力、既成概念にとらわれない力、私はそうした力を持った人材がこの時代を生き抜くのではと考えています。

短い時間でしたが、江口さんのお話を伺い、江口さんはこうした力を存分に発揮し、事業を発展されている方だと感じました。開校記念日に江口さんのお話をお聞きますが、江口さんのお話は生徒の皆さんにとって、時代を生き抜くための価値のあるお話になるのではと楽しみにしています。



株式会社メディロム

設立 2000年7月13日

事業内容 スタジオ運営・開発事業 / ヘルスケア研究事業 ヘルステック事業 / 教育事業/フランチャイズ事業

売上(2024年) 82.8億円

### ＝キルギスとの交流続く＝

昨年、キルギスの教育視察団が菅生学園を視察に訪れ、特別活動を中心に情報交換や授業見学を行いました。そのご縁で、6月18日にキルギス共和国から教育コーディネーターのイバラットさんが訪問され、島田理事長と教育交流等についての意見交換を行いました。キルギスでは子どもが増えて、教育熱が高まり、日本の教育について学ぶべきことが多いとのことでした。

9月25日にはキルギスから来日されたカンバルさんとエミルさんの2人の音楽家が初等学校の児童のために特別演奏を行ってくださいました。演奏に先立っては、イバラットさんがキルギスの文化や風土についての講演をしてくださり、最後には初等学校の児童とお2人で『ふるさと』を演奏しました。

昨今、日本の学校教育が世界で注目を集めています。今後も、こうした教育交流を継続していきたいと考えています。







# 学園トピック

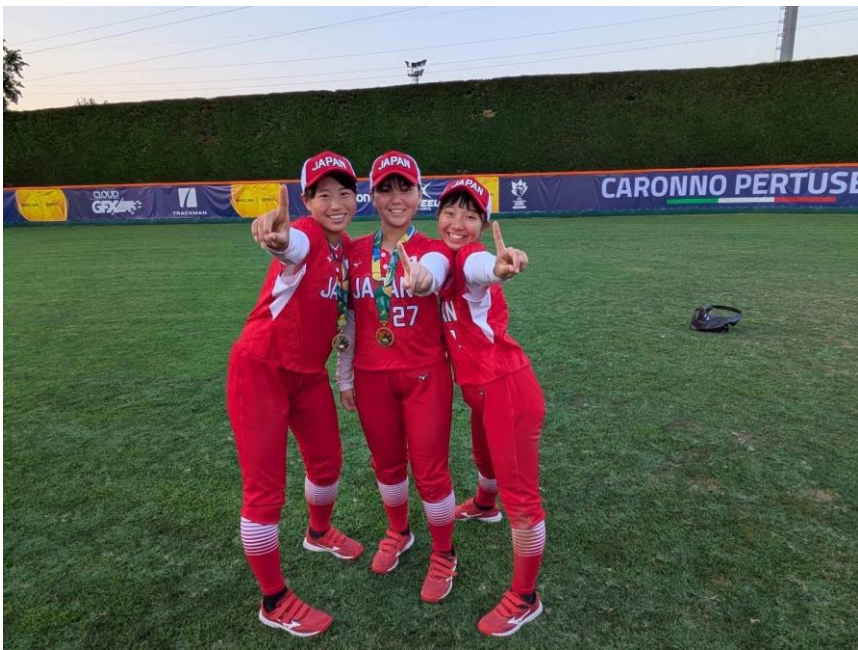
## ソフトボール日本代表Uー15 ワールドカップ優勝 2年連続日本一

6月27日から7月5日にかけてイタリアで行われた第2回女子ソフトボールU-15ワールドカップでは、日本代表に菅生高等学校中部ソフトボールクラブから川合瑠香選手（3年）、北村葉琉選手（3年）、山本優依選手（3年）の3名が選出されました。チームは見事な戦いぶりを見せ、世界一に輝きました。菅生学園からは、島田幸成理事長とソフトボール部村田隆一監督が現地で声援を送りました。

**重原早紀部長**  
子どもたちの可能性を信じてサポートしてきましたが、想像以上の成長にただただ驚いています。この子たちと一緒にソフトボールができる幸せをこれからも大切にしていきたいと思います。

**村田隆一監督**  
学園をはじめ、地域の皆様、たくさんの卒業生など多くの方々に支えられ、23年間が経ちました。素晴らしい生徒たち、人々との出会いに感謝するばかりです。「報恩」を胸に刻み、今後も精進します。

**植田さくらコーチ**  
母校の教壇に立ち、後輩たちとソフトボールができることに不思議な縁を覚えます。私たち先輩を超えて活躍する姿に誇りさえ感じます。教員として世界一の子どもたちと一緒にできることに感謝します。



**代表メンバー**  
**川合 瑠香（捕手）**  
この経験を活かし、キャプテンとしてこの夏、自チームの勝利に貢献します。

**北村 葉琉（投手）**  
これまで応援していただいたことを忘れず、さらに高みを目指し頑張ります。

**山本 優依（外野手）**  
ワールドカップ全勝優勝を糧に、全国中学校大会での二連覇を目指します。



### 2年連続日本一

大分県竹田市で8月28～29日に行われた第47回全国中学校ソフトボール大会にて、ソフトボール部は2年連続の日本一となりました。



昨年は富山県で開催された第46回全国中学校ソフトボール大会で優勝しました。



5月17日にソフトボール部優勝報告会が行われました。会では、①昨夏の全国制覇 ②U-15アジアカップ優勝（代表3名）③都道府県選抜大会優勝（代表4名）についての報告がなされました。

報告会には市長や教育長をはじめとするご来賓の方々、理事長をはじめとする学園関係者、保護者が出席されました。

記念碑は、選手たちを顕彰するとともに、今後の挑戦への決意表明ともなりました。





# 学園トピック

## 学びの城の美術展 開催

8月1日～3日 国営昭和記念公園花みどり文化センターギャラリーにおいて2年ぶりに『学びの城の美術展』が開催されました。  
「7つのセクションテーマ」

1. 作る喜び、生きる喜び
2. 見つめるまなざし 自然の造形、生命の輝き。
3. 広がる想い、心開いて。
4. デザインする心 –わたしだけの表現を。
5. 色彩は心の喜び。
6. なぜ描くのか？ 何を描くのか？
7. 美術の名作に学ぶ。

展示には、菅生学園初等学校小松先生、東海大学菅生高等学校中部藤田先生の次のようなメッセージが寄せられていました。

### 図工科 小松 佑将先生

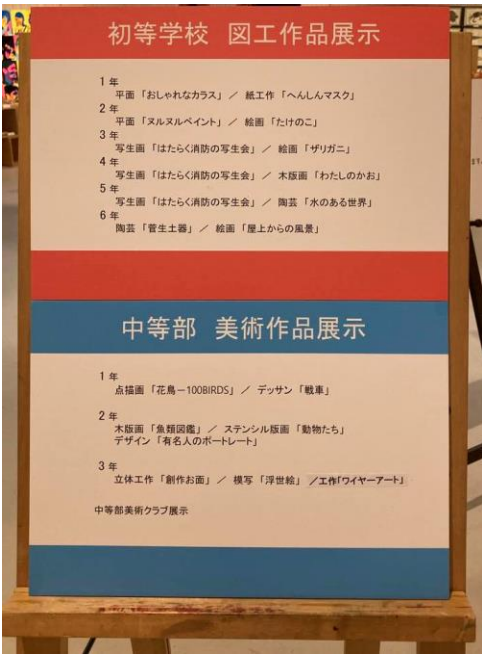
(前略) 私が図工という教科で願うのは、子ども達に自己を表現できたという一瞬を一度でよいから味わってほしいということです。そのためには“実物”が必要であり、外を見つめたり具体物に触れたりする中で、自己の感情や思いに気づくこと、あるいはそれを投影できる対象が必要です。本校においては、それが学校の周りに広がる豊かな自然なのです。緑豊かな丘陵地にそびえる“学びの城”で日々行われる子ども達の試行錯誤や工夫、発見の驚きや達成の喜び、ぜひここに展示された作品からそうした子ども達一人ひとりの姿を感じていただければと思います。

### 美術科 藤田 俊哉先生

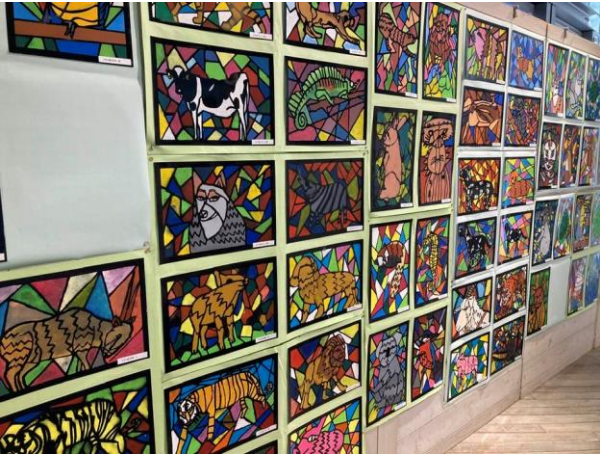
(前略) AI(人工知能)に絵を生成させるのは条件を与えてからほんの数秒のことで可能らしい。人口知能は過去の膨大な学習から最適解らしきものを導いて俊二に模範解答を生成するというわけだ。便利だけれど、そこに人が介入するプロセスはない。生徒に絵の指導をしていて「どうしてこんなに回りくどいやり方をするのか」と思うことがある。でもきっとその時は彼ら彼女らが新たな技術と経験を自ら獲得して、脳が活性化している時間なのだと思う。一度喜びを知った能はまた新たな刺激を求めて活動する。それが健全な学習である。AIのように簡単に結果は出ない。しかしそのまわり道の中から人は学びを獲得するのだということを芸術は教えてくれる。



会場となった国立昭和記念公園花みどり文化センター



今回は学びの城のモニュメント『森の調べ』との  
コラボレーション展示も行われました。





## 菅生学園教職員研修会

8月29日に教職員研修会が行われ、講演、報告、部会と、熱心に取り組む姿が見られました。

### 研修会報告

副理事長 和智 紀朗

恒例の、初・中・高の全教職員を対象とした「菅生学園教職員研修会」を、8月29日（金）9：00～15：00学びの城で開きました。

毎年、講演会をとり入れておりますが、今年は本学園の学校歯科医で児童・生徒の定期歯科検診などで大変お世話になっております、澤田章司先生にご講演をお願いしました。澤田先生は現在、秋川歯科医師会の会長であり、東京地方裁判所民事調停委員もされております。また、この6月まで日本学校歯科医会と東京都学校歯科医会の理事を長く務められておりました。

今回の演題は「歯・口の外傷について」で、次のようなお話をいただきました。

○学校歯科医の職務の法的根拠

○学校安全教育の考え方（発達段階に応じた危機管理）

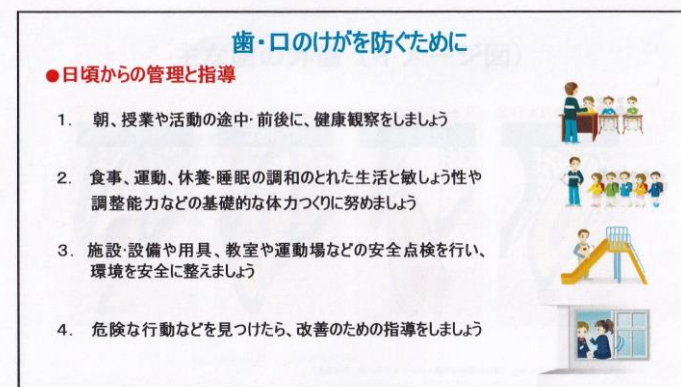
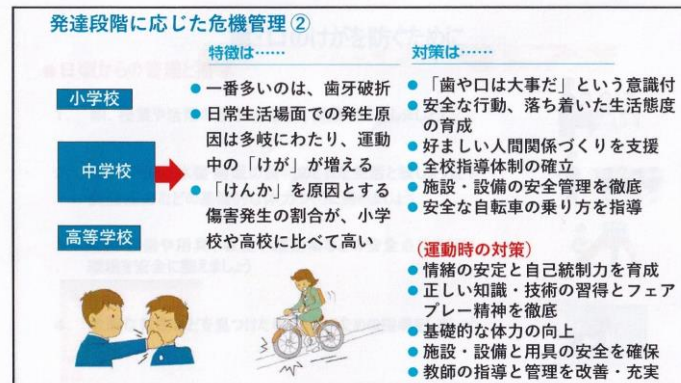
○校内・校舎周辺・通学路・課外活動等の安全確保

○歯・口のケガを防ぐための日ごろからの管理と指導

○危険を予測・回避するための学習。けがをしてしまった時の対処法

等々、事故例や外傷の種類を挙げながら、詳しくお話しいただきました。

児童、生徒への安全教育と組織的な安全管理について、心を新たにすることができました。



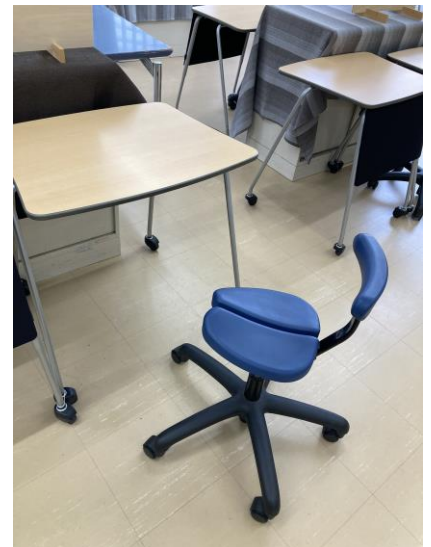
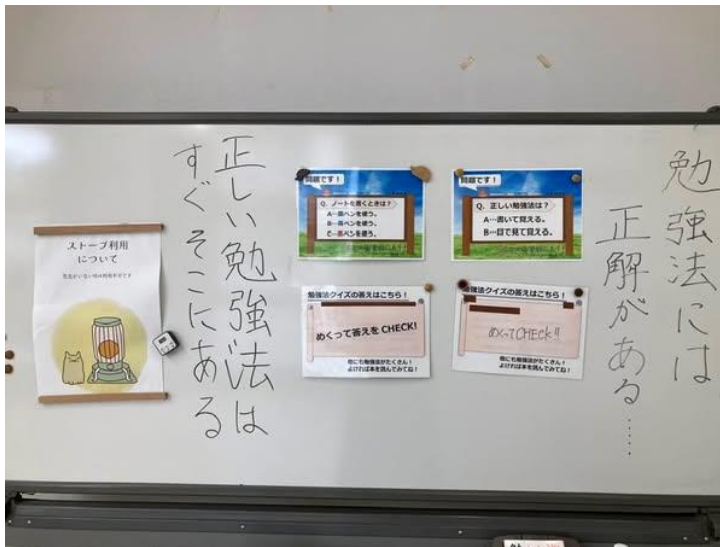
澤田先生の講演資料より

## 菅生のひとこま（12）

高校本校舎にある「自学館」は自学の精神を育てたいという創立者島田久先生によって命名されました。自学館には、講習・学習相談（個別指導）・自習の3つの機能ががり、それぞれ専用の部屋が準備されています。そしてこれら3つの機能が授業と連携することによって学力向上が図られています。

自学館の開館時間は月～金曜日は7：25～8：15と15：40～17：30、土曜日は7：25～8：15と12：20～14：00です。自習室は明るい空間で、使用されているアーユルチェアは座るだけで正しい姿勢が保てる椅子になっており、様々に学習しやすい環境が整えられています。室内には、学習方法のヒントも掲示されており、自主的に学ぶ生徒たちをサポートしています。

取材を行った日も、授業が終わるとすぐに自学館にやってきて、自習コーナーで端末を片手に熱心に学習に取り組む生徒の姿がありました。





# 菅生学園初等学校・東海大学菅生高等学校中等部

## 校長メッセージ



布村 浩二 校長

### = 募集の本質 =

私立学校の経営は授業料と補助金でなりたっています。つまり、募集が上手くいけば経営は潤沢となります。募集が上手くいくためには、学校運営内容が魅力的でなければなりません。しかし、この基本中の基本が疎かにされていないか。

魅力的とは、「自分の子どもを預けたい」と親が思える状況であることですが、そのためには、子どもの生きる力を育み、ウェルビーイングな学校生活を送れるような環境を整えることです。そうした環境下で、思考力、想像力、忍耐力、素直さが培われるのです。

いま菅生学園で行われている全ての活動が、このようなものになっているかを見直さなければなりません。授業の質、先生のアンテナや情熱、教職員間の連携、何よりも管理職の知見とマインドが重要です。

これから募集の追い込みが始まります。広報のみに力を入れるのではなく、管理職も含めた教職員が向上心を持ってお互い切磋琢磨しながら自らをブラッシュアップしていく必要があります。

## 菅生学園初等学校

## トピック

### = グリーンスクール =

7月23日～25日の夏休みを利用して、恒例のグリーンスクールを実施いたしました。東海大学山中湖セミナーハウスを拠点に富士山麓の自然を体験しました。初日は河口湖畔で昼食をとり、氷穴・風穴に行きました。中は暑さを忘れるくらい涼しく、子どもたちは天然の氷にも触れ大騒ぎでした。二日目の富士山五合目では、小雨ではあったものの、御庭から山頂を望みました。また、前日に書いたお手紙を富士山のポストより投函。三日目はバードコール作りやリニアの見学など盛りたくさんの内容でした。



### = ブリティッシュヒルズ英語研修 =

8月15日～17日の日程で福島県天栄村の英語村「ブリティッシュヒルズ」に行ってきました。2泊3日の行程でとても充実した内容でした。標高1,000mを超える森の中にあり、気候もイギリスに似ており、中世の街並みを再現した雰囲気は正にパスポートのいらない英国です。今回で3度目になる研修は内容もさらに充実し、討論・演劇・カリグラフィー（習字）・テーブルマナーなど学校では出来ないものばかりでした。しつらえ・家具調度品などすべてが本物で、子どもたちはますます英語文化に興味をもちました。



### = NHK学校音楽コンクールに出場 =

8月1日府中の森芸術劇場にてNHK学校音楽コンクールが開催され、今年も初等学校すがめき合唱団が出場しました。これに先立ち校内合宿を行い、例年以上の仕上がりでした。本番では緊張のせいか十分に実力を発揮できませんでしたが、それでも観客からは大きな拍手をいただき、保護者も大満足でした。子どもたちにとっては自らの成長を実感できる素晴らしい機会になりました。



## 4～9月活動報告

5/10 父母の会総会、スッガニア・スプリング  
5/24 運動会  
6/6 全校遠足（多摩動物公園）  
6/10 オープンスクール  
6/21 授業参観  
6/24～27 6年生修学旅行（京都・奈良）

6/28 スッガニア・サマー  
7/18 終業式  
7/19 スクールトライアル  
7/23～25 2・3・4年生グリーンスクール(山中湖)  
8/15～17 ブリティッシュヒルズ英語研修(福島)  
8/22～28 サマースクール

9/1 始業式・引き渡し訓練  
9/2 身体測定  
9/6 授業参観  
9/10 TGG英語体験学習（青海5・6年生）  
9/13 入試チャレンジ（広報活動）  
9/27 スッガニア・オータム（広報活動）

## 10～12月活動予定

10/4・5 菅生祭  
10/1～ 6年生三者面談  
10/8 TGG英語体験学習（立川3・4年生）  
10/10 開校記念日  
10/20～ 6年生校長面談  
10/29 ハロウィーンディ

11/1 第1回入学試験  
11/15 第2回入学試験  
11/16 東京都初等学校協会音楽祭  
11/23 東京都初等学校協会体育発表会  
11/29 マラソン大会

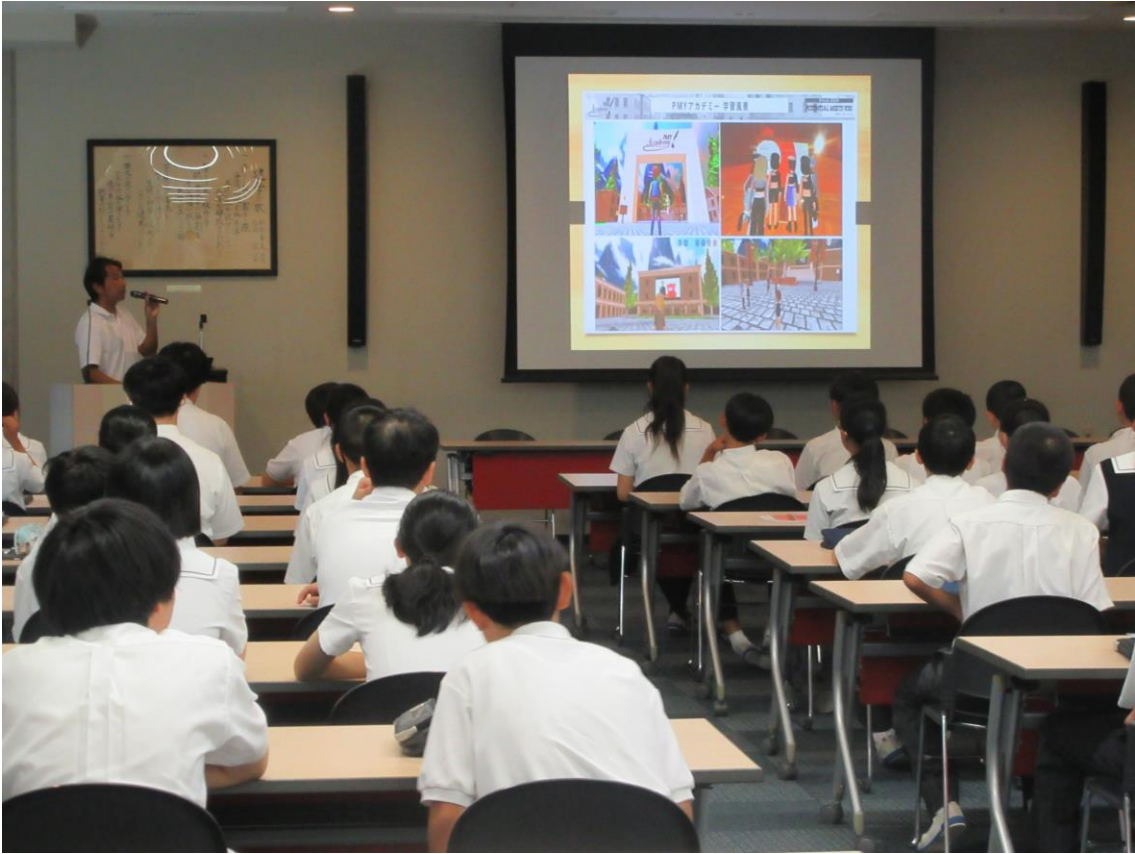


= キャリア教育（PMY アカデミー） =

昨年より始めました PMY アカデミー。中学 1 年生と 2 年生を対象に授業を行っています。校長先生が掲げるキャリア教育のうちの 1 つで、JTB が研究・開発し、メタバース技術を使った探求学習・キャリア学習で、生徒が仮想空間で企業活動や社会活動について学ぶツールです。

具体的には三菱 UFJ、第一三共、ニチレイ、meiji などの企業が教室を公開し、生徒はアバターで企業の教室を巡り、環境や社会課題、SDG s といったテーマを探究していきます。

メタバースやアバター操作はゲーム感覚に近く、普段は静かな生徒も、仮想空間では発言や活動に積極的になり、楽しみながら参加しているようも見られます。このように PMY アカデミーを扱うことで、自分の将来を考えるきっかけが増え、主体性や 探求心を伸ばすことができると期待しています



4 ～ 9 月活動報告

4 / 7	入学式	6 / 1 1	写生会②	9 / 8	塾対象説明会（ホテルエミシア東京立川）
4 / 1 7	保護者会②③	6 / 1 8	授業公開日	9 / 1 3	第 2 回学校説明会
4 / 2 2	校外学習①（静岡三保・東海大学社会教育センター） 2 泊 3 日	6 / 2 1	第 1 回理科実験教室	9 / 3 0	学期更新式
	校外学習②（横浜・鎌倉） 1 泊 2 日 4 / 2 3	7 / 1 3	オープンスクール		
	校外学習③（国立科学博物館）	7 / 1 7 ～ 1 9	指名補充		
5 / 1 0	保護者会①	8 / 2 3	第 2 回理科実験教室		
5 / 1 7	第 1 回学校説明会	8 / 2 7	登校日		
5 / 1 6	自然観察教室①	9 / 1	避難訓練		
5 / 2 8	第 1 回塾対象説明会（学びの城）	9 / 3	北海道修学旅行 3 泊 4 日		

1 0 ～ 1 2 月活動予定

1 0 / 1	スポーツ大会	1 0 / 1 8	第 1 回入試体験教室
1 0 / 4	菅生祭	1 0 / 2 4	生徒会役員選挙
1 0 / 5	第 3 回理科実験教室	1 0 / 3 0	郷土学習
1 0 / 9	芸術鑑賞教室	1 1 / 5	夢育て講座
1 0 / 1 0	開校記念式典	1 1 / 1 5	第 3 回学校説明会
1 0 / 1 5	主張大会	1 2 / 1 3	第 2 回入試体験教室
		1 2 / 1 9	音楽祭



# 東海大学菅生高等学校

## 校長メッセージ



大山 敏 校長

### トピック

＝自分の個性をつかみとるlibertyへ＝

東海大学創立者の教育理念の一つ「若き日に汝の思想を培え」は、個性的だが普遍的な、自分なりのものの見方や考え方を、学びを通して得られた幅広い知見をもとに育てよ、と捉えられます。ところで、「汝の思想を培う」ために必要なことは何でしょうか。それは、主体性の発揮以外にないと考えています。本校に限ったことではありませんが、高校生の中には、いつまでも親鳥に依存する雛鳥のように、「自分からは何もしない」で、「ただ口を開けて待っている状態」になっている生徒がみられます。

将来の我が国を支える高校生には、主体性をもって、自分で立てて歩くことのできる自律した思想を、明治時代に自由や権利について盛んに学習が行われていたあきる野の地に建つこの学校での生活を通して育んでほしいと願っています。何もしなくてもよいのではなく、何もできない不自由なfreedomから、積極的に自分の個性をつかみとるlibertyへと向かうために。

#### 卓球部 インターハイ出場

山口県下関市で開催されたインターハイ卓球競技・男子学校対抗の部に、東京都代表として4年ぶり5回目の出場を致しました。近年の都予選は混戦を極め、新人大会6位、春季大会4位とインターハイ出場上位2位までなかなか及ばない状況でしたが、準々決勝からの激戦をチーム一丸となって乗り越え、代表権を勝ち取ることができました。本戦では1回戦愛媛県代表に3－0で勝利、2回戦北海道代表に1－3と惜しくも敗れましたが、この1年間で成長した姿を見せ堂々と戦い切りました。これも部員の日々の努力はもとより、多くの方々からのご支援、保護者の方々のご理解の賜物です。今後とも東海大菅生卓球部をどうぞよろしくお願い致します。



#### 大会・コンクール結果報告

- 卓球部 東京都総合体育大会兼全国高校総体（インターハイ）卓球競技東京都予選会 男子学校対抗 準優勝 → 全国高校総体（インターハイ）出場 ， 女子学校対抗 第4位
- 弓道部 関東高等学校弓道大会東京都予選会男子個人 優勝 関東高等学校弓道大会男子個人 第7位， 東京都総合体育大会男子個人 第3位
- ハンドボール部 東京都春季高等学校ハンドボール大会兼関東高等学校ハンドボール大会東京都予選会 第4位， 関東高等学校ハンドボール大会 出場， 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）ハンドボール競技東京都予選会 第3位
- 男子バスケットボール部 東京都高等学校春季バスケットボール大会兼関東高等学校バスケットボール東京都予選会 第4位 ， 関東高等学校バスケットボール大会 出場
- 美術部 第75回学展個人 優秀賞
- 硬式野球部 春季東京都高等学校野球大会 準優勝 ， 第77回春季関東地区高等学校野球大会 出場 ， 第107回全国高等学校野球選手権大会西東京大会 準優勝
- 吹奏楽部 第65回東京都高等学校吹奏楽コンクール A組 金賞 ， B組 金賞 ， C組 金賞、最優秀賞
- ダンス部 第18回日本高校ダンス部選手権東京大会Aブロックスモールクラス 第4位 ， 第18回日本高校ダンス部選手権全国準決勝大会スモールクラス 西武鉄道賞
- チアダンス部 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 Best Overall Smile賞
- ソフトボール部 第67回東京私立女子ソフトボール選手権大会 準優勝
- 陸上競技部 第68回東京私学中学高等学校陸上競技選手権大会女子400Mハードル個人 第1位
- 男子バレーボール部 関東高等学校バレーボール大会 出場 ， 第73回東京都私立中学高校バレーボール大会 第3位
- 剣道部 東京都春季大会兼関東剣道大会予選女子団体 準優勝 ， 東京都春季大会兼関東剣道大会予選男子団体 第5位 ， 関東剣道大会女子団体 ベスト16 関東剣道大会男子団体 出場 ， 全国高校総体東京都予選会女子団体 第3位 ， 全国高校総体東京都予選会男子団体 第3位 ， 全国高校総体東京都予選会女子個人 第3位 全国高校山内旗剣道大会 女子第3位 ， 全国校門旗剣道大会 女子第3位
- ソフトテニス部 東海大学学園オリンピック第58回スポーツ大会ソフトテニス競技 男子団体戦 第3位
- 女子バドミントン部 東海大学学園オリンピック第58回スポーツ大会バドミントン競技 女子団体戦 準優勝

#### 4～9月活動報告

4／ 5	始業式	7／ 1～4	定期試験B	8／18～22	夏期講習（後半）
4／10	学園基礎学力定着度試験	7／ 1～7	特進PBL修学旅行(2学年・インドネシア・バリ島)	9／ 1	全校集会
5／ 7～10	1学年校外学習（恋愛研修センター）	7／18	全校集会	9／ 6	第2回学校説明会
5／20～23	定期試験A	7／20	第1回学校説明会	9／13	2学年付属生のためのオープンキャンパス
5／24	保護者対象東海大学湘南キャンパス訪問	7／22～25	夏期講習(前半)	9／27	第3回学校説明会
6／ 5	進路の日	7／22～8／6	オーストラリア夏期英語研修(Barker College)	9／30	学期更新式
6／12	芸術鑑賞教室	8／ 4～8	医学・難関大コース修学旅行（マレーシア）		

#### 10～12月活動予定

10／1	体育祭	11／6	3学年学園高大連携総合試験	11／29	帰国子女入試
10／4～5	菅生祭	11／7	付属選抜小論文試験	12／16～19	定期考査D
10／10	開校記念式典	11／15	第5回学校説明会		
10／18	第4回学校説明会	11／22	第6回学校説明会		
10／28～31	定期考査C	11／25～29	進学コース修学旅行沖縄		

#### チアダンス部 Best Overall Smile賞受賞

8月12日に京王アリーナTOKYOで行われた全国高等学校ダンスドリル選手権大会に2年連続出場いたしました。その結果、特別賞であるBest Overall Smile賞に、約190チームの中から選出され、受賞することができました。また、SONG/POM部門では地区大会から順位を二つ上げ、7位という結果を収めました。予選から本選に向けては、曲の歌詞を深く理解し、その歌詞に合わせた表情づくりを徹底して取り組みました。創部して2年目のまだ歴史の浅いチームではありますが、日々皆さまからの応援を励みに活動することができています。これからの大会では部門でも賞を目指し、さらに努力してまいります。

今後とも菅生高校チアダンス部King Fishersをよろしくお願いいたします。





# 営生 STEAMチャレンジ（1 2）

このコラムでは、営生学園の各園・校が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。  
今回は営生高等学校特進PBLコースの修学旅行をご紹介します。

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)

※文科省のSTEAM教育推進 STEMに加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲でAを定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習を推進。

= = = = =

東海大学営生高等学校特進PBLコースでは、コース開設後初めて2年生の修学旅行が行われました。この修学旅行は認定NPO法人 very50のの協力のもと行われたPBL(Project Based Learning)の一貫になります。このプログラムでは、現地の起業家の方と協働し、グループごとにプロジェクトを計画・実施することを通して、異文化理解と主体的な課題解決力を養うことを目的として、3C分析や4Pのマーケティングの基礎などの事前学習を経て、現地で社会課題解決に取り組みます。

今回の訪問先はインドネシア・バリ島で、協働するのは、マングローブを原材料にブラウニーやスナック菓子を製造販売している現地企業で、解決すべき課題は、現地の漁師に収益がいくように、お菓子の販売拡大策を考えるというものでした。

現地でのヒアリングは英語で行われ、グループごとにパッケージ変更やSNS活用の提案が行われました。グループごとに遅くまでディスカッションを重ね、解決策のブラッシュアップ図り、その一生懸命な姿は引率教員も心打たれました。

今回の修学旅行を通して、生徒たちはフィールドワークや仮説・検証サイクルの大切さを身をもって学びました。さらに、自ら動いて学ぶ姿勢を育まれ、Change Maker Awardに自主的にチャレンジするグループも現れました。

## プログラム概要

- ・事前学習（水曜日5・6限）
  - －チームビルディング
  - －マーケティング基礎（3C分析，4P等）
- ・スケジュール
  - 6月30日 結団式
  - 7月1日 成田出発
  - 2日 カヌーツアー・マングローブ視察，起業家訪問・ヒアリング，グループ活動
  - 3日 グループ活動
  - 4日 グループ活動
  - 5日 グループ活動，テストマーケティング
  - 6日 プレゼンテーション，自由観光
  - 7日 成田空港着
- ・帰国後報告会
  - －学年集会
  - －学校説明会
  - －1年生向けの報告会



## 認定NPO法人 very50（ベリーフィフティ）

「自立した優しい挑戦者」の育成を活動理念として、アジア新興国を訪れて社会問題の解決に挑む、海外実践型教育プログラムMoG（Mission on the Ground）を運営。



## = 医学・難関大コース 初の海外修学旅行 =

8月4日～8日の日程で、医学・難関大コース2年生がマレーシア・クアラルンプールに初の海外修学旅行へ行きました。

- ・目的
  - －多文化が共生しているマレーシアで人々がどのように生活しているのかを知り、異文化交流を通して、異文化理解ができるようにする。
  - －アジアの先進的な取り組みに触れ、進路に対する視野を広げる。

### ・プログラム概要

- 7月23日 結団式
- 8月4日 マレーシア・クアラルンプールへ移動
- 5日 市内観光(国立博物館、独立広場、ヒンズー教の聖地であるバトゥー洞窟)企業訪問 (Bridge International Asia)市内シンボルであるペトロナスツインタワー観光
- 6日 マレーシア工科大学（ワークショップ，研究室見学）
- 7日 現地大学生とのグループで市内観光

Bridge International Asiaでは阿部社長から、マレーシアでビジネスをすること、メリット、起業について説明をいただきました。人との関係を大切にビジネスをしてきた阿部さんのお話に、生徒たちは積極的に質問していました。また、現地マレーシア人スタッフとのワークショップを行い、最後に英語で発表をしました。

マレーシア工科大学では、3Dプリンティング、サイバーセキュリティのワークショップに参加しました。昼食後は、4グループに分かれて、活性炭素を使った実験（攪拌の時間と炭素の量の関係についてデータ採取）と廃油からの石鹸作り（ブレンドするものやph・効能の変化を分析）を実施し、実験後には、各班ごとにポスターを作成・発表を行いました。



## 編集後記

東海大学営生高等学校では、この夏、特進PBLコースがインドネシア・バリ島へ、医学・難関大コースがマレーシア・クアラルンプールへ、それぞれ初の修学旅行に行きました。現地での様々な活動や交流を通して、一段と成長し、自ら学ぶ意欲を持った生徒たちの姿が印象的でした。生徒たちに負けず、学園全体も一步一步、確実に前に進んで行ければと思います。

2025年9月 編集・発行 営生学園 法人本部  
ご意見・ご質問はこちらへ 編集担当：高橋 真実